

第 46 回東南アジア青年の船 代表団来成

10月26日、内閣府主催第46回東南アジア青年の船千葉プログラムの一環として、東南アジア及び日本の青年たちが成田市を訪れました。330名の青年たちは、東京での参集式を終えた後、11グループに分かれて11県での地方受け入れプログラムに参加しました。11県のうちの1つに選出された千葉県では、千葉県IYEO(千葉県青年国際交流機構)の有志により結成された受け入れ実行委員が成田市、千葉市を中心にホームステイや視察を企画、青年たち30名を10月26日～10月29日まで受け入れました。

成田市国際交流協会は、当事業に係る成田市でのホストファミリーの募集や歓迎パーティ、成田国際空港株式会社での視察などを後援しました。歓迎会では成田市のマスコット「うなりくん」もスペシャルゲストとして登場、参加青年たちの歓喜の音があがりました。ホームステイでは、参加青年たちはホストファミリーの案内で成田山新勝寺、房総のむら、イオンショッピングモールなど、地元の名所を満喫し、ホストファミリーとの心温まる思い出を胸に、11月3日、横浜港大棧橋よりこぼん丸にて約40日間にわたる国際交流の旅に出航しました。わずか数日の滞在でしたが、初めての日本、成田での滞在は、青年たちの心に残るものであったようです。ご協力いただいた関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。



東南アジア青年の船とは？

東南アジア青年の船 (Ship for South East Asian and Japanese Youth Program: 通称 SSEAYP) は内閣府青年国際交流事業の一つで、1974年のインドネシア共和国、マレーシア、フィリピン共和国、シンガポール共和国及びタイ王国の各国と日本国との共同声明に基づいて始められた事業です。18～30歳の青年がASEAN各国から集まり、日本参加青年約40人ASEAN諸国10カ国から募る外国青年約280人と船内で1ヶ月共同生活をしながら、各国事情の紹介や討論を行うとともに、船内及び訪問国において各種交流活動を行うことにより、相互の友好と理解を促進し、あわせて日本の青年の国際的視野を広げ、国際協調の精神の醸成と国際協力における実践力の向上を図り、もって国際化の進展する社会の各分野で指導性を発揮することができる青年を育成するとともに、青年による青少年健全育成活動等の社会貢献活動への寄与を目的として実施しています。

※詳しくは、[内閣府ホームページ](#)をご覧ください。



世界の料理を楽しむ会 ～中国吉林省編～

11月10日、「世界の料理を楽しむ会」に参加しました！

吉林省出身の潘さんから珍珠丸子(もち米をまぶした肉団子)、果仁菠菜(ピーナッツとほうれん草の和え物)、番茄菌湯(トマトときのこのスープ)の家庭料理三品を教えていただきました。

お母さん(潘さん)と一緒に来ていた6歳の娘さん、テーブルに食材を配る等、とても愛らしくお手伝いをしていました。

吉林省の寒い冬の料理は、肉団子に生姜を加え、体の中からポカポカ効果。そして片栗粉でトロミをつけたトマト味スープは温か献立。中国の家庭料理には薬膳料理を思わせる食材選びを感じました。



また、肉団子の蒸し方にも素晴らしさを感じました。肉団子の周りにはもち米(事前に冷水に2時間浸す)をまぶしつけてから人参の輪切りの上に置いて蒸し仕上げます。人参の上手な使い方、人参の栄養、人参の鮮やかな色、団子の上にはクコの実を飾ります。

吉林省で豊富な茸と千葉県の花生の食材を利用しての友好献立。潘さんから分かりやすく説明していただきましたので、私たちは手際よく調理することができました。これから寒くなる季節にぴったりの献立を教えていただきました。

中華料理の好きな橋本より 謝謝

成田ヒスパニックサークル 10周年記念イベント ディア・デ・ムエルトス(死者の日)

11月3日、成田ヒスパニックサークルでは、10周年行事の一環として、メキシコの伝統的なカンペチェ州の死者の日～Día de muertos (ディア・デ・ムエルトス)～「ハナル・ピクサン・カンペチェ 2019 (マヤ語で死者への食べ物)」を開催しました。「死者の日」に食べる「死者の日パン (Pan de muertos) の料理教室」、「死者の日」の説明、メキシコの歌手、フジモト・シンジ氏の歌、ダンスグループ、メヒコ・エン・ラ・ピエルによる踊り、そして、アジアン・ツアー中のメキシコのミュージカルグループ、「ラ・カトリナ・ソン・システム」によるショーなどを行いました。



アルタール(祭壇)



在日メキシコ大使館文化顧問である、エマニュエル・トリニダード・エルナンデス氏や成田国際交流協会の品田理事長にもご出席いただき、70人以上の方々に参加してくださいました。

最後に様々な種類の「死者の日パン」と一緒に飲まれるチョコレートドリンクを試食してもらいました。また、もりんぴあの2階ギャラリーにおいて、「ハナル・ピクサン・カンペチェ 2019」としてメキシコの南東部にあるカンペチェ州のマヤ地方で行われている伝統的な「死者の日」の祭壇を展示し、多くの方々にご来場いただきました。ありがとうございました。

成田ヒスパニックサークル代表 井上シルビア



オープンジョーチケットを購入して今年（令和元年）7月に10回目の台湾旅行をしました。約半世紀目の旅行は、飛行機で成田空港から高雄空港へ行き、台北/桃園空港から帰国したもので10泊11日の旅行です。

小生が初めて出国したのは昭和40年、東京・晴海の埠頭から客船で那覇へ行き、本島、宮古島、石垣島、竹富島、西表島にかけて2週間滞在して沖縄ソバや山羊の刺身など賞味し米ドルで支払って海外気分の序盤を味わいました。さらに石垣島から客船で台湾の基隆港へ渡る、この時が初めての外国旅行となりました。

台湾には約一ヶ月滞在し、バスや鉄道を乗り継いで東回りに一周して各地を見聞し、各種味覚を味わいました。当時は市街地を歩いてもめったに日本人を見かけず、台湾人からも珍しがられました。とある本屋で会った台湾人が小生に「あなたは日本人だね、私は日本人として東南アジアへ鉄砲を持って戦争に行ったヨ、私はあなたと同じ大和魂を持ってるとヨ！」と初対面にもかかわらず昔を懐かしむように話していました。また、泊まったホテルのロビーで休んでいると、目にはいる人々のほとんどが日本語で挨拶を交わし、日本語で談話していたのでフロントの人に「こちらのホテルは日本人の宿泊者が多いようですね」と言うと「日本人はあなただけですよ！我々の年代は、挨拶や会話で自分の気持ちを相手に伝える時には日本語のほうが話易いですよ。」と返され、暗に「元日本人ですよ。」と言っているようでした。

現在に至り、日本では昭和・平成・令和と替わる間に台湾も台北空港が桃園に移り、空港まで電車が走り、台北101や高雄の85大樓などができ、新幹線や地下鉄が日常走り、高雄では港から時空之城・夢時代のような若者の集まる場所まで真新しいライトレールが走っていて、様々に大きく変化しました。大和魂のおじさんも見かけなくなりました。

今回の旅行中、高雄では「スクール」に会いました。真っ青の晴天から急に曇って85大樓の中腹まで雲が下りてくると間もなく強風・豪雨になって雨具を持参してもビルに避難するほどの雨量でした。一日2～3回の、文字通り「cats and dogs」です。

台南では各停駅「善化駅」から路線バスで約30分(料金49元≒¥175-)の烏山頭水庫(ダム)へ行きました。ダム訪問は2回目、建設に尽力した八田與一技師及び関係者が居住した当時の日本風木造故居の復元工事が完了して



第八五、八六代日本内閣総理大臣 森 嘉朗
（記念碑に記載の文字）
絆の桜

いたので記念園を訪れ記念館を見聞しました。また完成時に寄贈された森元総理大臣名の記念碑を拝見しました。

記念館の説明によると烏山頭水庫(ダム)は完成した時点で東洋一の貯水量を誇りました。1920年～1930年に建設工事が行われ灌漑/治水用に作られたもので玉山(旧ニイタカ山)山脈に降った大量の雨水を蓄えて、洪水防止と乾季の農業用水供給や海水の逆流防止等を同時に解消できるよう作られた模様で、1920年代迄は荒れ果てた土地であった所が、ダム完成後には一帯の土地を台湾最大の大穀倉地帯に変えることができたとして台湾の人たちに敬愛されており、現在も水利施設は嘉南大圳(かなんたいしゅう)と称して台湾の人達により運営されています。

この穀倉地帯に隣接したところに嘉義農林学校があって、野球部は1931年第17回全国中等学校野球大会(現在の高校野球の前身/(本土=19校、海外=台湾・満州・朝鮮・各1校参加))に台湾代表として参加、甲子園で決勝に進出して準優勝の栄光を勝ち取り、現地では大喜びしたそうです、滞在中の八田與一技師から激励されたとの逸話もあるようです。

善化駅に戻って台南駅から台湾鉄道在来線の特急に乗り台北へ移動しました、在来鉄道の車窓を眺めるのも良いもので新幹線や飛行機と比べて、違った趣がありました。



英会話サロン 参加者募集

2019年の締めくくりとなる英会話サロンは、今年初級英会話講座でお世話になった Greg Lopez 先生他2名をゲスト講師にお招きする予定です。クリスマステーマに皆で英会話とスイーツを楽しみましょう♪

日時：12月22日(日)
10:30~12:00

会費：1,000円(会員限定)
申込み：協会事務局 (Tel 23-3231)

会場：ホテルウェルコ成田 half time
(会場は変更になる場合があります)

成田日本語教室主催

2019 国際交流の集い

日時：2019年12月8日(日)
13:00~16:00

問合せ：成田日本語教室 (Tel 04-7174-1278)

☆料理は、ポットラック(一品持寄り)でお願いします。

会場：成田市中心公民館 講堂

☆お酒はダメです。

内容：日本語の発表、各国のダンスなどの披露、
持ち寄った料理の試食

☆お国の衣装を着て、参加してくださいね！

協会後援事業

ペーパーレス化推進へのご協力をお願いします

当ニュースレターは、協会ホームページ、Facebookでもご覧になれます。Facebookではイベントのお知らせや実施状況などをいち早くチェックできますので、アカウントをお持ちの方は是非アクセスしてみてください。

Scan the code and check out our latest news on Facebook→



Facebook QRコード

国際交流カレンダー(12月)

- 3日(火) 広報部会・編集会議(市役所/16:30~)*
- 15日(日) サンプルノ市中学生友好訪問団
応募者面接選考会(市役所)
- 17日(火) 広報部会・最終校正(市役所/16:30~)*
- 22日(日) 英会話サロン(ホテルウェルコ/10:30~)

*印のついているものはどなたでも参加できます

編集後記

本誌の発行号数は先月で245号となりました。
私は第2号から本誌の編集に携わらせて戴いていますので実に20年近くになります。初代編集長の酒井さんを中心に5-6名のスタッフで各種行事やイベント取材し、毎月編集・発行を続けてきました。おかげさまで交流協会全体の動きや成田市の各種イベント情報にふれあうことができました。しかし私も体調不良となって来ましたのでそろそろ、と考えています。そこで最後にお願ひです。皆さん是非本誌の編集に参加してみませんか？新しい成田と自分を発見する為に…。 (佐藤伸)

ニュースレター (毎月1日発行)

[編集・発行]成田市国際交流協会広報部会(〒286-8585成田市花崎町760成田市役所文化国際課内)

Tel:0476-23-3231/Fax:0476-22-4494/E-mail: nifs@ngy.3web.ne.jp

成田 国際交流

検索

再生紙を使用しています



NIFS